

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38677	
事業名	札幌市制100周年記念事業費						
評価担当課	所属名	総)行政部 総務課					
	課長名	吉田 裕亮	担当者名	志田 元	電話番号	011-211-2162	
施策名	主	さっぽろ未来創造プロジェクト					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	札幌市制100周年記念事業に係る認知度の向上と機運醸成				
		長期	①市民が札幌への愛着や誇りを深めるとともに、これからもこの街に住み続けたいという想いを抱ききっかけづくりを行う。②コロナ禍で打撃を受けた札幌が、100周年という共通のテーマをもとに、改めて街の魅力を国内外に発信していくことで、街全体が元気を取り戻すためのきっかけとする。				
	取組内容	2022年に市制施行100周年を迎えるに当たり、市の歴史を振り返り、市民に広く周知するとともに、今後の更なる市の発展を目指す契機となる記念事業を実施する。 令和3年度は、その事前準備と機運醸成のため、ロゴマークとキャッチフレーズの作成等を行う。					
	実施結果	1 札幌市制100周年記念ロゴマークデザイン及びキャッチフレーズ作成 2 札幌市制100周年特設ウェブサイトの作成 3 札幌市制100周年記念事業に向けた若者向けワークショップの実施 4 札幌市役所本庁舎正面玄関前聖火台広場へ掲揚するポール旗の作成 5 市長記者会見等にて使用する、札幌市制100周年記念ロゴマークがデザインされたバックパネルの作成					
事業実施における工夫点	事業の実施そのものがPRと機運醸成に資するよう、ロゴマーク・キャッチフレーズの作成にあたっては、全国からアイデアを公募したほか、決定のプロセスにも一般投票を取り入れて実施した。						
対象者	主に市民			開始	令和3年度	終了	令和4年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	他の政令指定都市においても、市制施行に係る周年記念事業を実施している(2020年度に千葉市で市制100周年事業、2019年度に神戸市で市制130周年事業など)。また、2022年に本市と同じく市制施行100周年を迎える道内他都市(函館市、小樽市、旭川市、室蘭市)も、それぞれ周年記念事業を実施する予定。						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	0	2,000	2,761	70,000	
うち特定財源	0	0	0	7,000	
人工	0.0	1.0	1.0	1.0	
人件費	0	7,200	7,200	7,200	
計(事業費+人件費)	0	9,200	9,961	77,200	
事業費の内訳	令和3年度決算	1 札幌市制100周年記念ロゴマークデザイン及びキャッチフレーズ作成(札幌市制100周年特設ウェブサイトの作成を含む):1,999千円 2 札幌市制100周年記念事業に向けた若者向けワークショップの実施:536千円 3 札幌市役所本庁舎正面玄関前聖火台広場へ掲揚するポール旗の作成:110千円 4 札幌市制100周年記念ロゴマークがデザインされたバックパネルの作成:99千円 他			
	令和4年度予算	1 札幌市制100周年式典及び関連イベントの実施:27,212千円 2 札幌市制100周年記念事業PR業務:42,788千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	業務の性質上指標値を算出することは困難			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	業務の性質上指標値を算出することは困難			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	ロゴマーク・キャッチフレーズ募集では、ロゴマーク337作品、キャッチフレーズ1,628作品の応募があったほか、一般投票にも687件の投票があった。また、特設webサイトの閲覧者数は7,861名であったことから、本事業の認知者数の増加を図ることができた。札幌市制100周年記念事業により多くの市民意見を取り入れることを目的に、若者向けワークショップを実施し、そこでいただいた御意見を参考に、令和4年度の事業内容を検討した。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	ロゴマーク・キャッチフレーズ募集では、延べ2,652名の市民参加があり、特設webサイトの閲覧者数は7,861人名であった。決定したロゴマーク・キャッチフレーズを用い、市長記者会見等で使用するバックパネルや本庁舎正面玄関前ポール旗、本市が郵送事務に使用する封筒を作成したほか、さっぽろ雪まつりや環境広場さっぽろといった各種イベントと連携することにより、多くの方々に対し本事業をPRすることができ、また、機運醸成にも繋がる取組となった。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	既存の係体制の中で効率的に事務を進めることで、専属職員を置くことなく実施した。また、ロゴマーク・キャッチフレーズの作成にあたってはプロポーザル方式で提案のあった3案の中から最も費用対効果が高いと考えられる手法にて実施した。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	令和4年度に実施する記念事業本体において市民ニーズに的確に応えるため、令和3年度は準備行為として若者ワークショップを行うことで、ニーズ把握や企画検討を行った。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答	<input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	なし				
前回の評価	○ A    ○ B    ○ C    ● 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	札幌市制100周年記念事業に、より多くの市民参加を取り入れ、機運醸成を図ることを目的に、ロゴマーク・キャッチフレーズの公募と一般投票を行い、多くの市民参加を得たほか、若者向けワークショップを実施したことにより、市民ニーズに合った令和4年度事業の企画に繋がったと考える。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持    ● 休止・廃止 札幌市制100周年記念事業は令和4年度で完了する事業のため			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持    ● 縮小 <input type="checkbox"/> その他 札幌市制100周年記念事業は令和4年度で完了する事業のため		見直し効果額	0 千円